

最期の願いが叶えられるように

「最期まで住み慣れた家で」と在宅死を希望する人が増えています。久富春美さんの義母・アヤマさんもその一人でした。アヤマさんの最期の願いを受け入れ、支え抜いた日を通して春美さんの中で大きな決意が芽生えました。



↑春美さんとその息子の剛さん④、仁さん④、亮さん④に102歳の誕生日を祝福され、穏やかな表情を浮かべるアヤマさん。春美さんとアヤマさんが記念写真として一緒に写った、この世でたった一枚の親子写真です。

「俺が死んだら母を施設へ」夫の願いとの狭間で葛藤

「さみしい、さみしい。」施設に入所中の義母・アヤマさんの言葉に「家で看取る覚悟を固めました」と真剣な面持ちで振り返る久富春美さん(弁城)。「かつて看護師免許を取るか迷っていたときも、お義母さんが『頑張り



↑義母を在宅で看取る決意を理解し協力してくれた義娘・千鶴さん④と介護の思い出話に在りし日を懐かしむ春美さん。

なさい」と背中を押してくれました。義理の母だけど、本当に優しい癒やしの存在だったから、6年間の在宅介護も苦には感じませんでした」とアヤマさんの写真を眺めながら義母を偲びます。結婚から43年間連れ添った夫・龍彦さんを平成23年にがんて亡くした春美さん。亡くなる2週間前に「俺が死んだら母を施設に入れてくれ」と言われました。「既に深夜・早朝に素足で徘徊するほど認知症が進んでいたお義母さんを心配しながらも、私たちに負担をかけないように、気遣った夫の最期の願いでした。」一抹の後ろめたさを抱えながらも、夫と決めていた介護施設にアヤマさんを預けた春美さん。夫がいよいよ寂しき、義母を施設に入れた罪悪感を忘れるため、看護師の仕事に没頭しました。

「最期は家で」義母の願い叶えた家族・周囲の支援

夫の死と義母の入所から3年後の平成26年、春美さんは「あやめ訪問看護ステーション」を設立。訪問看護の利用者と接するうち、義母の望みをかなえられていない現状に自責の念を抱くようになった春美さん。心のもやもやと向き合った結果、アヤマさんを家で介護することを決意します。仕事や家事など、日々の生活と並行してアヤマさんを介護するため、訪問診療・看護・介護・入浴の4つの介護サービスを利用。おむつ替えや食事介助など、

在宅での介護は、家族全員で協力しアヤマさんを支えました。そして、施設から自宅に帰る6年の月日を数えた今年の2月22日、眠るように106年の天寿を全うしたアヤマさん。「家族や周囲の協力があつたからこそ、お義母さんを最期まで自宅で看取ることができました」と春美さんは感謝に涙をにじませました。

在宅介護と向き合う家族負担と不安和らぐ看護を

自身の在宅介護の経験から、これまで以上に訪問看護の意義を感じながら仕事と向き合うようになったという春美さん。在宅介護や看取りの希望が増加する一方、家族の在り方の変化でその望みをかなえられない家庭が多い現状にも理解を示します。「困難な状況の中でも大切な人の最期の望みをかなえようと在宅で介護するご家族の覚悟に寄り添い、その負担と不安を少しでも軽減できるように訪問看護を続けたい。努力は惜しみません」と力強く語った春美さん。この町で暮らす在宅介護に向き合う人たちを支え続けていきます。

人生の最終段階に自らが望む医療・ケアを受けるために――

「も

備え、自分自身が大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自ら考え、また信頼する人たちと話し合うことを指す「人生会議」。年齢や性別に関係なく、誰もが命に関わる病気やケガをする可能性はあります。そのような命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを相談せずに自分で決めたり、望みを伝えたりできなくなると言われています。いずれ迎える人生の最終段階のときを考え、普段の会話の中でも構いません。意思表示できる今からでも、自分が望む医療や介護について、信頼できる人た

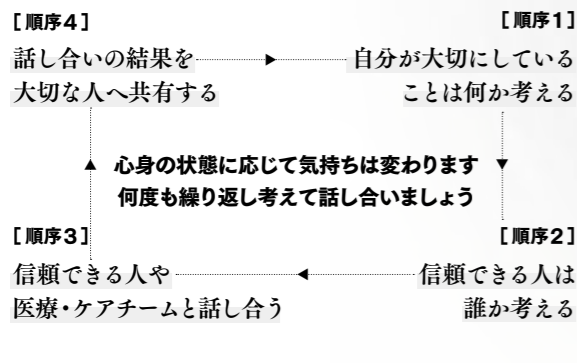
前もって考え、繰り返し話し合い、共有しませんか。

Advance Care Planning 人生会議

福智町役場 福祉課 在宅医療介護連携推進員 中川 理恵
ちん伝えておくことが大切です。また、福智町では、誰もが住み慣れた地域で最期まで自分らしく生活できるまちづくりを目指し、在宅医療・介護連携事業を進めています。在宅医療や介護について心配事があれば、お気軽にご相談ください。
福智課 高齢者福祉係 0221-7763



話し合いの進め方



→波邊進さん・タミ子さん(赤池)ご夫妻宅を訪問した春美さん。進さんのパーキンソン病と認知症が同時進行する不安を吐露したタミ子さんに「決して一人で抱え込まず、早めに連絡を」と語りかけました。



↑福智町が医療と介護の連携を進めるため、町内で訪問看護を営む8事業所を招き10月27日に開いた意見交換会。